

令和4年4月17日

東京都高体連卓球男子専門部
加盟校各位

東京都高等学校体育連盟
卓球男子専門部
委員長 平 雅行

スーパーシード制度について

平素は東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部の活動にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

表題についてですが、東京都高等学校体育連盟卓球男子専門部では令和4年度よりシングルスのみ「スーパーシード制度」を採用し、**春季大会（関東大会予選）シングルス部の結果をもとに東京都総体（インターハイ予選）シングルス部から「スーパーシード制度」を運用していくことと致しました。**

以下にその制度の詳細について記載しましたのでご確認ください。

- ① 以下の条件に該当する選手は、同年度の都総体兼インターハイ予選シングルス部を決勝大会からの出場とする。
東京都高等学校春季卓球大会兼関東高等学校卓球大会予選 シングルス部 ベスト8以上
- ② 以下の条件に該当する選手は、同年度の新人大会シングルス部を決勝大会からの出場とする。
**東京都高等学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会（インターハイ）東京都予選
シングルス部 ベスト8以上**
- ③ 以下の条件に該当する選手は、翌年度の都春季大会兼関東大会予選シングルス部を決勝大会からとする。
東京都高等学校新人卓球大会 シングルス部 ベスト8以上

第1シード以下最大8名を次の大会のシングルス部で決勝大会から出場するスーパーシード選手とします。なお、8名の中から欠員が出た場合の補充はしません。

都総体シングルスより、決勝大会までの各ブロック組み合わせ、決勝大会の組み合わせは別紙資料の様になりますのでご確認ください。決勝大会用トーナメント表も全体組み合わせと同時に点検公開時に公開致します。

令和4年度はシングルスのみで運用していき、それを精査した上で令和5年度以降はダブルスの部での運用も視野に入れて検討をしていくことと致します。

なお、このスーパーシード制度は「全日本選手権ジュニアの部東京都予選」には運用されませんのでご承知置きください。

以上